

サツマイモガングリオシドの効果(モニター結果)

2015.6.1 中村 晃一

サツマイモから色差分解法により生成したガングリオシド含有食品を約 200 名のモニターにこの 5 年間調査した結果は次のとおりでした。

1. ほぼ全員が「便通が改善した」と言っている。
2. 爪が割れなくなった
3. 髪が太くなりしっかり立つようになった(美容師さんにも言われた)また白髪が減って黒くなってきたという人もいる。
4. 殆どの人が「風邪をひかなくなった」
5. 殆どの人が「口内炎ができなくなった」
6. 血糖値が下がった。
7. うつ状態が改善されてきた。
8. 癌を患っている人が「癌が縮小し、転移が認められない」
9. 抗癌剤による副作用が軽減(痛みやできもの、食欲減退、脱毛など)
10. 白血球が増えた。

以上を整理すると **3 つに分類**して考えることができます。

1. 腸及び爪(爪根:そうこん)、髪(毛根)、気管(風邪や肺炎)、口腔などは**全て上皮細胞**に覆われている。この**上皮細胞は胎児細胞から変わっていないため、細胞活動が非常に活発**で、特に細胞の一番外側を覆う**糖鎖**の合成にはリサイクル分子をフル活用している状況。そこを抗癌剤は狙ってくる。
ガングリオシドの 1 分子である**シアル酸 (Neu5Ac)** はここではいつも不足している状況で「**細胞飢餓**」といわれる状態にある。ここで、サツマイモガングリオシドを補給してやると即座にサツマイモのシアル酸 (KDO) が使われ、ヒトの**ガングリオシドとして機能する**。
2. この時ヒトに進入する**ウィルス**はヒトの**ガングリオシドのシアル酸及びガラクトースの接合の部分**を認識して細胞に進入してくるので、ここがサツマイモの**シアル酸**であれば、**認識できず**、細胞への進入は食い止めることができる。
3. また、癌の転移については、癌細胞が大量に生成する**偽白血球 (シアリル Le^x)** のシアル酸にサツマイモのシアル酸を付けて血管内を流れるため**血管内皮細胞は白血球と認識せず、癌細胞は転移できない**。

以上がモニターを務めてくれたかたがたが改善された結果の主な原因です。

ただし、**血糖値**が下がったのはサツマイモガングリオシドと一緒に含まれている**クロロゲン酸**の効果であると判断します。

以 上